

J A総合事業を通じた農業振興と地域貢献に関する取組宣言

J A松阪は、これまで、政府等から「農協改革」の要請を受け、「食と農を基軸とする協同組合」として、総合事業や協同活動を展開し、正・准組合員や地域住民とともに、農業者の所得増大、農業生産の拡大、地域の活性化を目標とする自己改革に取り組んでいます。

自己改革の取り組みは、一定の実績と評価を得つつありますが、規制改革推進会議は、依然として、“信用事業の分離”や“准組合員の事業利用規制”を企図する動きを継続しています。

さらに、深刻な担い手不足や農産物自由貿易の進展、超低金利政策の長期化等により、農業・地域・J Aを取り巻く環境や情勢は、一段と厳しさを増し、組織経営基盤の脆弱化が懸念されます。

このような状況において、J A松阪は、信用・共済事業を含めた総合事業全体の収支のなかで運営することを継続し、正組合員のみならず、准組合員の積極的な事業利用や活動参加も得つつ、「多彩な農業の振興」と「元気な地域づくり」の活動を拡充し取り組みます。

このため、農業振興・地域貢献の活動を支える経営基盤を一層強化するため、役職員が一丸となって、第11次中期経営計画に盛り込んだ、事業の伸長・効率化や内部管理態勢の高度化、合併等の組織再編・整備の検討等の必要な対策を着実に実践します。

J A松阪は、これからも、“総合事業の強み”を活かし、組合員の負託に応え、農業・地域にとってなくてはならない組織であり続けることを、ここに宣言します。

令和元年6月21日

第34回松阪農業協同組合通常総代会